

総合的な探究の時間の成果報告会が2月4日、まき×まきホールで行われ、1、2年生が意見交換や成果発表を行いました。会場には探究学習でお世話になった各分野の専門家や有識者らも来場し、生徒たちの1年間の学びを見守りました。

令和7年度は1年生12班、2年生13班が、関心を持った分野について探究。町の自然や食料のほか、福祉や防災などまちづくりに関わる内容まで多岐にわたるテーマに取り組みました。

はじめに行ったのはポスターセッション。班ごとに1年間の成果を模造紙にまとめ、紹介し



1年の取り組みを紹介する生徒

「総合的な探究の時間」 探究成果報告会
地域とつながる探究活動

▶葛高noteでも紹介しています



合いました。生徒は写真や成果物などを用いながら、工夫を凝らしていました。発表後には質問や感想が寄せられ、活発な意見交換が行われていました。

続くステージ発表では、多くの支持を集めた各学年の上位2班が登場。2年生の福祉をテーマにした班は、有識者への聞き取りや高齢者との交流活動など、実践を通して得た気付きや課題などを整理し、今後の展望も含めて堂々と発表しました。

探究成果を共有し合った生徒たちは、1年の活動を振り返り、今後の活動へ意欲を高めています。



助言者や関係者らを前に発表する生徒

中高一貫推進事業「進路講演会」
将来を考える貴重な機会に

中高一貫進路講演会が2月4日、まき×まきホールで開催され、町内の中高生約110人が参加しました。

講師は、株式会社ヘラルポニー岩手事業部シニアマネージャーの森尾洋一さん。自身の経験や働く上で大切にしている考え方を交え、個性豊かなアーティストの作品を生かした商品制作・販売し、多様な人々が社会参画できる仕組みづくりに取り組み会社の活動を紹介しました。その中で、生徒たちに自



1自らの経験などを生徒に向け講演 2講師の森尾さん 3質問する生徒 4ヘラルポニーの商品を紹介

分らしさを大切にしながら挑戦することや、多様な価値観を認め合うことの重要性について伝えました。

講演後には質疑応答の時間も設けられ、生徒たちは会社の業務内容や働き方など積極的に質問。真剣に耳を傾けながら、理解を深め、興味を膨らませました。

講演を通して、生徒一人一人が将来について考え、自らの進路に思いを巡らせる貴重な時間となった様子でした。

3年生へ心を込めた
ありがとう

卒業を控える3年生を歓送する予餞会が1月30日、同校体育館で開かれました。会場では、在校生によるステージ発表や感謝の言葉などが披露され、これまで学校を支えてきた3年生へ感謝とエールが送られました。

3年生は、後輩たちの発表に満面の笑みを浮かべ、仲間との思い出を振り返りながら、卒業後の新たな一歩に向けて、温かな思いに背中を押されるひとときとなった様子でした。



高校生記者レポート

最近シール帳を買って、シール集めにハマっています。立体的なシールはテンションが上がります！



今月の担当 角紅春 (2年)

最後の追い込み

葛巻高校では年4回考査があり、2月12日から17日の期間で今年度最後の考査が行われました。今年度1年間の成果を試すとても重要な考査だと思っています。校内でも最後のテストということもあって、これまで以上に生徒全員が日頃の授業に真剣に向き合い、放課後は教室や学習塾でそれぞれの苦手などところを教え合っている姿が見られました。さらに考査1週間前になると、学校全体がより集中力を増

しているように感じました。私も学習塾に通う回数を増やしたり、友達と一緒に放課後に勉強したり、努力しました。

考査は終わりましたが、最終目標はその先です。それぞれが自分の目指す進路に進めるよう、気を緩めずに、授業に真剣に向き合い、学校生活を送っていけるように頑張ります。



放課後も必死に勉強